

第14回 トンネル施工検討委員会シールドトンネル部会 議事概要

1. 開催日時・場所

令和6年7月16日(火) 14:00～16:30

JR 東海品川ビル会議室

2. 出席者

委員：立命館大学総合科学技術研究機構上席研究員 小山 幸則(部会長) ほか5名

※WEB参加1名含む (3名欠席)

3. 事務局

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部

4. 議事概要

(1) 第一首都圏トンネル新設(北品川工区)における調査掘進再開後の状況

第一首都圏トンネル新設(北品川工区)において、シールドマシン外周部の形状復元作業を完了し、調査掘進を再開して以降、シールドマシンの状態を確認しながら慎重に掘進し、シールドマシンの外周部に問題がないことが確認できた。その一方で、曲線区間での掘進が続くなか、トンネルの壁となるセグメントが内側に寄る傾向が続いたため、セグメントの組立て時に接合の調整を行いながら掘進を行っていることについて、事務局から説明を行った。

委員からは、セグメントを組み立てたトンネルの壁の状況を確認しながら慎重に掘進を行うよう、助言があった。

(2) 第一首都圏トンネル新設(梶ヶ谷工区)における掘進の状況

第一首都圏トンネル新設(梶ヶ谷工区)において、本格的な掘進を開始し、施工管理を慎重に行い、周辺への影響を確認しながら掘進を進めていることについて、事務局から説明を行った。

委員からは、今後の掘進にあたっては、引き続き慎重に進めていくよう、助言があった。

(3) その他の工区の状況

第一首都圏トンネル新設(東百合丘工区)について本格的な掘進に向けた作業の状況を、また、第一首都圏トンネル新設(小野路工区)、第一中京圏トンネル新設(坂下西工区)及び(名城工区)それぞれにおける調査掘進の状況について、事務局から説明を行った。

委員からは、調査掘進や本格的な掘進が安全かつ確実に進むよう、各工区において、適切に状況を把握しつつ、引き続き慎重に作業を実施していくよう、助言があった。